

人と石屋の多趣味人生

その122

とと屋



歳を取ると動きまわることが極端に少なくなってきました。無理をしてバイクに乗ったり、ジムへ行って筋力トレーニングしたりするのは、基本じつとしていない事が多い今日この頃です。そんな中で一番の楽しみは食べる事。残り少ない人生、あとどれだけ食べられるのかわかりませんので出来るだけ一回一回を美味



しく感じられる時に食べておこうと言うのが最近の考えです。今年のはじめに知り合いのフエイズブックに書かれたコメントを見ました。そこには京都の七条通り、中央市場の近くのお店を紹介してありました。私も二十代の頃はスーパーに勤めており、毎日買い出しに中央市場へ行っておりました。朝六時には市場へ入り、仲卸の店を歩き回り、たまにはセリを

見て買い付けをしませす。八時頃には買い付けが終わり、トラックへの積み込みを待ちます。その待ち時間が朝ごはんの時間でした。市場では朝早くから数千人の人が動き回っています。その為その人達の胃袋を支える事も必要で、六時位から開いている食堂も多いのです。また、食材を卸している人達です。素材の良し悪しがわかっていないので、変な物は出せなく、レベルの高い店ばかりです。

写真は大トロの造りです。この量で約千円ほどです。トロトロの大トロを一杯食べてこの値段。完全に嵌りました。このお店は毎週火曜日と金曜日のみ夜立ち飲み屋さんを開いております。昼間は普通の魚屋さんです。目玉は大トロですが、他にもいろんな魚が置いてあります。季節ごとにさざえや帆立、牡蠣、なども並びます。お店で食材を買って加工

店ばかりです。それ以上に重要な事は安いと言う事。皆さん原価を知っています。そんな市場の近所の魚屋さんがやっている立ち飲み屋に期待が膨らみ、早

石屋 紀次

慰安旅行

二度目の慰安旅行に連れて行ってもらいました。初めてのタイです。蒸し暑く、全身汗まみれですが建物内はエアコンが完備され、内外の差が激しかったです。今回はベルトを買おうと思っていたのですが、買物をゆつくりする時間もなく、



せつかくの時間は細君に時間をとられ、あつという間に終わってしまいました。私は胃腸が結構敏感で、食べ物に少々不安があったのですが

連れて行ってもらうたお店はどれも美味で、不安な胃腸不良はありませんでした。車窓より町並みを見てみると自動車のパーツを売っている店がある

わった果物を食べましたが、残念ながらドリアンは食べられず、それがちよつと心残りでした。想像以上のタイでした。タイの湿気には大変でしたが、日本に戻れば涼しく感じて暫くは過ぎしやすかったです。

り、日本のお店とは全然違って印象的でした。朝食でも変

石坂 晴夫

ポール・スミス展

先日、岡崎の京都国立近代美術館にポール・スミス展を見に行きました。会場に入るとすぐにイヤホンが渡されて、壁のQRコードをスマホで読み取ると解説が聞けると言うシステムでした。残念ながら私のスマホでは上手く読

み取る事が出来ず、解説無しで見事になりました。ポール・スミスは、今では世界七十ヶ国に展開する世界的なファッションブランドですが、会場に設置してあった一号店の完全復元では、わずかに三メートル四方のスペースしかなく、その場所から世界

的なデザイナーに仕上がった彼の才能に驚かされました。会場の中には色々な展示がありましたが、その中でもローバー社のミニとコラボレーションした車の展示は印象に残りました。カラフルなストライプのとても可愛い車に仕上げられており、見る人の視線を釘付けにしています。また、彼が撮った写真のコレクションや、収集した絵画のコレクションなども展示されており、とても洗練された

山本 夕起子



ラーメン

京都の特徴として、多様なラーメン店が点在しています。これらが提供するラーメンを京都ラーメンと呼びます。京都ラーメンの多くはこつてりと濃厚なスープです。一乗寺・東大路通はラーメン激戦区と言われるほど多くの店舗が競合しています。そんな中、小麦そばという変わったラーメンを出すというお店に行ってみました。

場所は天下一品の向かいの路地にちよつと入ったところがあり、閉まっているところをよくみるのですが、友人と通りがかったときにたまたま開店していました。メニューは鯉だし・昆布だし・飛魚

だしの三種類の小麦そばがあり、他はご飯ものが少しありました。時間が夕方のもあり、鯉だしは売り切れでした。僕は昆布だしを頂きました。見た目はとてもシンプルで味はラーメンとは思えないくらいあっさりとしています。例えば、ちよつと濃いすまし汁に麺が入っているという感じでしょうか。小麦そばとイメージ通りのラーメンでした。

古野 充宏



就職活動を終えて

気がつけば就活解禁日から四ヶ月、あつという間でした。エントリーシート、説明会、学力テスト、ディスカッション、小論文、面接：学生生活で一番頭がパンクしそうになりました。面接が連続であると緊張から食欲もなくなり体重も自然に減ります。面接期間中に祖父が亡くなり、必死に精神を保つてつくり笑顔で面接を受けた日もありました。そんな辛い時期もありました。が、良いように転がり始めると意外とあつという間のゴール



中西 恵梨